



2022 年度第 5 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2022 年 10 月 15 日（土） 13:00～19:00

開催場所 静岡県栄養士会事務局 および WEB

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		地域		
氏 名	新井	久保田	若林	松島	戸田	日置	塚本	三浦	篠原	池谷	森平	白石
出 欠	○	○	○	○W	○W	○W	○	○W	○	○	○	○W
職域事業部	地域		勤労		医療				福祉			
氏 名	青島	栗原	森下	山崎	鈴木	渡邊美	渡邊潤	中村	太田	田森	杉山	柳澤
出 欠	○W	○W	○W	○W	○W	○W	○W	○	○W	○	○W	○W
監 事	関	梅木										
出 欠	○W	○W										

開 会 定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、議事録のとおり全員出席の予定。全員出席でありますので、出席者が過半数（うち WEB 参加 17 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、公衆衛生事業部の日置理事と塚本理事が指名された。

1 会長あいさつ

先日のメルマガにも配信させていただきましたが、栄養士・管理栄養士の存在、栄養ケア・ステーションの所在、そして静岡県栄養士会の存在について、知らない方が多いことに気づかされました。広報の力不足だけでなく、栄養士に見える化をより積極的に行うこと、それに対して栄養士会が全力で支援することなど、やるべきことが多くあると感じます。研修会というスキルアップだけではなく、活躍する栄養士、管理栄養士をクローズアップし、社会に売っていく（不適切な表現です）、発信していくような事業・企画について、ぜひ考えてほしいと思います。将来の人材を育成するために、かつ栄養士、管理栄養士になりたいと思う若者たちを増やすためにも、足の引っ張り合いをするのではなく、会員同士が一致団結し、「新時代」を築いてほしいと思

ます。栄養士会のみらいは理事の皆さんの手に託されています。宜しくお願い申し上げます。

2 前回議事録の確認

・2022 年度第 4 回理事会議事録

全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 2 項）

(1) 新井会長

7 月 30 日（土）	Dims 説明会：日本栄養士会	静栄事務局
8 月 2 日（火）	ふじのくに健康増進計画推進協議会（食育部会）事前打合	静岡県立大学
8 月 6 日（土）	研修部第 1 回担当者会議	WEB
8 月 10 日（水）	ふじのくに健康増進計画推進協議会（食育部会）	オールしずおかベストコミュニティ
8 月 18 日（水）	地域包括ケア関係団体担当者連絡会議	WEB
8 月 26 日（金）	三役会議	WEB
8 月 28 日（日）	東海北陸地区会長会議	静栄事務局
8 月 29 日（月）	みどりの食料システム戦略 関東農政局 面談	静栄事務局
8 月 31 日（水）	静栄 DAT 運営委員会	WEB
9 月 7 日（水）	静岡県委託事業 多職種連携会議 事前打合せ	静栄事務局
9 月 9 日（金）	静岡県委託事業 多職種連携会議	静岡県経済産業会館
9 月 21 日（水）	静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会	もくせい会館
9 月 23 日（金）	食べるから繋がる担当者会議打合せ	WEB
9 月 25 日（日）	ヤクルト協賛 健康づくり提唱の集い	AOI
9 月 29 日（木）	研究教育事業部運営員会	WEB
9 月 30 日（金）	静岡県多職種連携による研修会打合せ（シズケア）	WEB
10 月 11 日（火）	三役会議	WEB

(2) 久保田副会長

7 月 30 日（土）	DiMS 操作説明会	静栄事務局 (WEB)
8 月 9 日（火）	中学生職業体験聞き取り	静栄事務局
8 月 26 日（金）	三役会議	WEB
8 月 28 日（日）	東海北陸地区栄養士会長会議	静栄事務局 (WEB)
8 月 31 日（水）	DAT 会議	WEB
9 月 1 日（木）	総務部企画調整委員会（顕彰・記録）	WEB
9 月 15 日（木）	広報部委員会	WEB
9 月 17 日（土）	栄養ケア・ステーション部委員会	WEB
9 月 23 日（金）	食べるから繋がる担当者会議打合せ	WEB
9 月 25 日（日）	公開講座健康づくり提唱のつどい	静岡音楽館 AOI
10 月 4 日（火）	総務部企画調整委員会（総会）	WEB
10 月 11 日（火）	三役会議	WEB

(3) 若林副会長

7月26日(火)	ふじのくに健康増進計画推進協議会歯科保健部会	レイアップ 御幸町ビル
7月30日(土)	Dims 説明会：日本栄養士会	静栄事務局
8月6日(土)	研修部第1回担当者会議	WEB
8月25日(木)	第14回ふじのくに食育コンテスト	東海調理製菓専門学校
8月26日(金)	三役会議	WEB
8月28日(日)	東海北陸地区会長会議	静栄事務局
8月31日(水)	静栄 DAT 運営委員会	WEB
9月7日(水)	静岡県委託事業 多職種連携会議 事前打合せ	静栄事務局
9月9日(金)	静岡県委託事業 多職種連携会議	静岡県経済産業会館
9月23日(金)	食べるから繋がる担当者会議打合せ	WEB
9月25日(日)	ヤクルト協賛 健康づくり提唱の集い	AOI
10月11日(火)	三役会議	WEB

4 報告事項

(1) 静栄 DAT (中村理事)

【8月31日 19:00～21:00 第1回静栄 DAT 運営委員会開催 WEB】

参加者 三役及び運営委員 15名

内容

1. 県との災害協定
2. 静栄 DAT スタッフ研修
3. 運営委員の選出方法
4. 静栄 DAT スタッフ育成
5. 栄養士会事務所内に備蓄した特殊栄養食品の管理
6. 第11回静岡災害リハビリテーション研修会に栄養士会として参加
7. 静岡県社会福祉協議会(静岡DWAT事務局)より、10月1日(土)大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)への参加依頼
8. 静栄 DAT メール転送機能

【9月11日 13:00～17:00) JDA-DAT リーダーワークショップ WEB】

参加者 中村 池谷理事

内容

全国のリーダーが参加し4から5名のグループに分かれワークショップ形式

ワークショップ 1. リーダーとしてあるべき姿について

ワークショップ 2.

- (1) フェーズに応じた栄養・食生活支援活動
- (2) 組織運営体制の整備

- (3) 人員派遣調整
- (4) 出動
- (5) 活動拠点・現地統括、関係者との連携体制構築
- (6) 後方支援体制の整備

【大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)(10月1日12:00~17:00)県庁】

参加者 中村 渡邊潤理事 安倍事務局長 静岡県 JDA-DAT スタッフ・リーダー

内容

大規模地震時医療活動訓練

静岡県内における広域連携災害訓練として、各地域での DMAT・DWAT・JRAT・JDA-DAT 看護協会が出席し各団体が被害状況に応じて訓練を実施、その後報告を行い情報を共有する。

静栄 DAT グループ LINE の安否確認では 28 名・時間外 9 名の報告、DiMS による訓練では 17 名の入力を確認。たくさんの方のご協力に感謝いたします。

(2)総務部企画調整委員会（森下理事）

◇2022 年度第 1 回総務部企画調整委員会(顕彰・記念事業・保存管理)会議を zoom にて行った(9/1)

1. 顕彰委員会の経緯と今後の作業について

①静岡県栄養士会表彰規定(案)の再整理

- * 日本栄養士会 栄養改善奨励賞候補者推薦規準との兼ね合い
- * 日本栄養士会の規定と静岡県栄養士会との兼ね合いについて

②表彰基準の明確化、会員への周知

まずは日本栄養士会・静岡県栄養士会では表彰制度があることをホームページなどに掲載していく。会員にはメリットがあり評価される会であることを周知していく。

③各表彰の内容整理と該当者のリスト化(各該当事業部の協力)

- ・ 4 月 1 日現在の会員歴、年齢等が規準となる。現在、事務局が時期・年齢を考慮し該当者をピックアップし、その後 3 役で推薦候補者を絞っている。

各事業部で推薦に値される方を総務部に毎年情報を挙げていただくようにする。

⇒各団体からの表彰推薦依頼について、一覧表を作成する(久保田副会長)

2. 記念事業(式典)の方向性について

①記念式典開催年度に標準を合わせ、準備、予算化する必要がある。

*平成 30(2018)年 11 月 18 日(日) 法人設立 25 周年記念式典開催

(平成 5 年に社団法人 平成 24 年に公益社団法人)

- ・ 積立は 2022 年 3 月末現在 15 万円(年間 5 万円予算) 式典費用: 100 万円程度必要

⇒25 年後(2043 年)に法人設立 50 周年を迎える(*日栄は 100 周年)一つの目安

⇒他県栄養士会はどのようにされているかも確認し、検討材料にしていく。

今後予算立し、開催の 3 年前(理事交代時期も考慮し)には記念式典担当委員会を立ち上げ、準備していく。

3. 保存事業

①今後の記念誌、式典に向けて事業の記録・保存について

- ・記念誌発行から4年経過。データに追加 記録担当

⇒まず、事業の記録などの保存状況を事務局に確認する。

⇒「静岡県栄養士会の沿革」「委託事業」等の資料は2018年分まで保存されている。2019年以降4年分を委員で分担し追記する。今後は毎年3月にまとめ、4月の理事会で承認を得る。

◇2022年度第1回総務部企画調整委員会(総会)会議をzoomにて行った(10/4)

1. 講演・特別講演の内容と講師候補選出について

- ・講演(30分):静岡県健康福祉部健康局 健康増進課 課長に依頼をする

- ・特別講演(90分):いずれも講演内容により講師を選出していきたい。

- ・最新情報や栄養士・管理栄養士が知っておくべき内容、情報源

- ・総会の集客率があげられるような内容を検討

1. SDGsに関連する栄養や環境問題について
2. 企業されている管理栄養士・栄養士のはなし
3. 第4期特定健診・特定保健指導の変更点等
4. 商品開発に力を注ぐ企業の努力や管理栄養士との関りについて
今後、理事会にて検討していきたい。

2. 当日の役割分担

*会場設営:運営マニュアルを作成していく。

- ・映像・配信・会場の設営・各分担作業について⇒受付・広報・表彰・避難誘導・展示場・接待
役割分担のひな型、ノウハウを落とし込んでいく。細かく役割を記載して写真などで残して整理していく。
- ・司会は2名で分担制にする。2名で行うことでサポートしあうことができる。
- ・照明担当・来賓担当も分担に入れるようにした方がよい。
- ・担当のリーダーを決めて新しい理事もリーダーの指示のもと動けるようにする。

- ・9月14日 栄養関係功労者厚生労働大臣表彰について、2名の被表彰者決定通知があった
栄養指導業務功労者 神戸千恵子会員

古田悦子会員

- ・9月8日 公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者を1名推薦した
公衆衛生事業部 川口富士子会員

(3)広報部(渡邊潤理事)

9月15日広報委員会を開催

協議事項

- 1) 担当業務の確認について
- 2) メールマガジンの作成について
- 3) ホームページ作成の分担について

(4) 地区事業部（塚本理事）

- ・ 8/28（日）地区事業部理事打合せ（WEB：理事 5 人：塚本、白石、森平、日置、栞原）
- ・ 地区研修 9/3 志太・榛原地区、9/24 西部・中東遠地区
- ・ 10/26（水） しずおか健康づくりサポーター意見交換会（久保田副会長、塚本）
- ・ 11/6（日） 19：00～ 地区代表者 WEB 会議（予算作成依頼、来年度の地区研修について）

(5) 栄養ケア・ステーション部（杉山理事）

2022.9.17 第一回栄養 CS 会議実施 出席：栄養 CS 部委員 5 名、鈴木事務員

① 栄養 CS 登録者の再構築

登録申請書の見直し実施。つながる電話番号（携帯番号）、e-mail アドレスの記載流にする。→申請書の見直し、案内を 12 月～1 月には案として提出できるように準備を進める。

② 研修会（交流会）について

静岡県栄養士会としては、まず栄養 CS の登録者の増加を図りたいため、認知度を上げていく。興味を持ってもらうためにも交流の場や研修会を行いたい。

→方法：WEB 回数：2 回 ・紹介、実情、活動報告

・ 実際活動している方の声を中心に

③ 支部運営費について

今年度予算として支部運営費 10 万円ついているが、詳細が決まっておらず支払いができない。今後、継続した運営ができるよう考えを統一するとともに、静岡県栄養士会に業務依頼された場合の人材コーディネートなど流れを統一していく。

④ 認定栄養 CS の連携、支援について

多職種から栄養の必要性が高まってきているが、対応できるところが少ない。

静岡県栄養士会、CS 委員、自分たちが理解を深めるところからはじめる。そして依頼書など誰が見てもわかるような流れを作っていく。

(6) 学術部（県民調査・研究委員会）（田森理事）

7 月 13 日（水） 学術部運営会議 WEB

(7) 研修部（渡邊美子理事）

① 研修会参加状況

健康づくり提唱の集い（ヤクルト） 9 月 25 日（日）13-00-16：00

・ アンケート結果 ※資料参照

演題 1：「腸から整えるカラダとココロ」 株式会社ヤクルト本社広報室参事、小笠原 信浩先生

演題 2：「人生 100 年時代の健康長寿を目指した新しい栄養学～新型コロナウイルス感染症時代のメッセージ～」 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 医学博士 内藤 裕二 先生

場 所：静岡音楽館 AOI 7 階講堂

参加人数 会場 55 名、web 42 名

② 研修会申し込み状況

・11月23日(水・祝) 医療

演題「循環器疾患の栄養療法(仮)」、「病院管理栄養士に必要な戦略(仮)」

講師：社会医療法人近森会近森病院 宮島 功 先生

参加申し込み 43 名

・1月14日(日) 3事業部合同研修会

演題：「料理写真の撮り方、SNS への掲載のコツ」

講師：樽林写真事務所樽林写真事務所 フォトグラファー樽林武俊、EL Think 代表 山崎靖晃

場所：あざれあ 生活実践室と第一研修室(仮)

参加申し込み 午前 28 名、午後 11 名

・西ブロック研修会&交流会

2022.11/26(土) 研修会 13:30~15:00、交流会 15:15~16:15

演題：「健康に係る睡眠の話」

講師：中東遠総合医療センター 人間ドック・健診センター

診療部長兼 睡眠医療センター 診療部長 新島 邦行 先生

交流会：「栄養士のための交流会」 ～オープンチャット体験会～

参加申し込み 22 名

・東ブロック研修会&交流会

2023.1/21(土) 研修会 14:00~15:30、交流会 15:30~16:00

テーマ：ウィズコロナ！「ライフステージを通した食育活動」

講師：福祉・地域・学校・研究教育・公衆衛生・医療の各事業部より

交流会：各職域からのライフステージを通した活動を共有して、意見交換

参加申し込み 10 名

③ 2022 年度第 1 回研修部担当学会議

- ・2022.8.6 2022 年度第 1 回研修部担当学会議 議事録参照

④ 2022 年第 1 回生涯教育担当学会議 (Web 会議)

- ・2022 年 7 月 24 日 (日) 議事録参照

(8) 公益事業委員会 (委託 1、2) (池谷理事)

【委託事業 進捗状況】令和 4 年度の委託事業について進捗状況及び 報告 等

1) 元気を見つめる外食活用推進事業

① 高校生対象外食活用推進事業・・・高校生の講座 10/4 日現在 1 校実施済

営業指導センターより講座見学の希望（田方農業高校に決定）

②冊子活用事業

冊子編集担当者協議 7月に連絡確認済。冊子の内容に関しては今年度変更なし

*現在の進捗状況 10/4 現在 2154 冊

- ・冊子は10冊単位で依頼が可能
- ・使用事例としては栄養指導や保健指導で活用してほしい
- ・窓口は栄養士会事務局 担当紅林さんに電話（火・木・金 勤務日）
またはメールで問い合わせ
- ・冊子は年間3000冊配布目標

2) 飲食店向け「健康な食事」推進事業

（連絡調整窓口：静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 杉田氏）

研修会開催予定：県内2回

1.（東部） 10月26日（水）13:00～15:00

会場：東伊豆町庁舎 会議室

研修内容：

①講演「健康な食事」について考える：講師 中部大学客員教授 近藤今子先生

②取り組み事例の紹介：講師 はまべ荘 鈴木弘康 氏

2.（西部または中部）現在杉田氏が掛川に問い合わせ中

3) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業（担当：若林副会長）

契約期間 5月1日～令和5年2月28日

事業内容：①親子地産地消ツアー 8月3日と5日親子10組ずつ 終了

②鎌倉時代の食文化について考える講演会 10月6日

講師：静岡県立大学 名誉教授 新井 映子 先生

4) 管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修事業について

(1) 研修

1. 実施方法：Web 配信

2. 実施期間（web 配信にて視聴、レポート・同意書提出期間）

令和4年8月22日（月）から9月22日（木）まで

*研修申込者によるレポート提出が少なかったため、配信期間を9月25日まで延長

レポート提出期間も延長した。今後担当者によるレポート集計。

3. 「介護予防推進指導者育成研修会」Youtube 再生回数

動画1 行政説明(20分) 356回

動画2 講義(60分)「高齢者の特性を踏まえた口腔管理」

歯科衛生士による「通いの場」への支援 383回

東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野 日高 玲奈先生

動画3 講義(60分)「高齢者の特性を踏まえた栄養に関する課題」 390回

愛知淑徳大学健康医療科学部健康栄養学科 教授 榎 裕美 先生

動画 4 事例発表 1(20 分) 「通いの場等介護予防の場における管理栄養士の活動内容」

管理栄養士 上田 規江氏

308 回

動画 5 事例発表 2(20 分) 焼津市における介護予防/歯科衛生士の活動事例

～行政と事業所(病院)との連携～

岡本石井病院 歯科衛生士 金森麻依子氏 角鹿 亜紀氏

298 回

(受講状況)

地域包括支援センター職員 等 300 名程度 応募総数再受講者含め 362 名 (7/22 時点)

(2) 管理栄養士を市町等に紹介する仕組みの運用

(実施内容)

- ・令和 4 年度管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修の修了者名簿を更新し、市町等が実施する介護予防事業に協力可能な管理栄養士の名簿を作成
- ・市町等からの依頼を受け各栄養ケア・ステーションにて、管理栄養士を紹介する仕組みを運用
- ・その他、管理栄養士の通いの場等での活動を支援する取組を実施
 - * 東部 18 件 西部・中部 0 件 (8/20 日現在)
- ・通いの場で活用できる資料(リーフレット)作成・・・次回打ち合わせ 11/3 (木)
- ・管理栄養士の通いの場活動する取り組みの支援のための打ち合わせ担当者会議等 (2 回)

日時 11/27 (日) 会場 栄養士会事務所

R5 1/29 (日) 会場 サンウェル沼津 中会議室 時間未定

5) 食べるから繋がる地域包括ケア推進事業

1. 連絡調整会議の開催 9 月 9 日 15:00～17:00

関係団体の情報交換及び連絡調整を行う

出席団体 (名簿順)

静岡県理学療法士会・静岡県訪問看護ステーション協議会・静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会・静岡県言語聴覚士会・静岡県歯科医師会・静岡県介護支援専門員協会・静岡県医師会・静岡県歯科衛生士会・静岡県健康増進課及び介護保険課担当者

・事務局:栄養士会 (会長・副会長 (若林) 池谷・森平・青島)

*都合により、欠席された団体:袋井市・静岡県ホームヘルパー連絡協議会

2. 担当者連絡会の開催 回数:1 回以上 9 月～1 月頃 (内:WEB 1 回)

・担当者連絡会 1 回目:WEB 開催 日時 10 月末～11 月を予定

10 月 23 日に実施した WEB 会議での、事前打ち合わせ時に協力いただいた資料で説明予定

・担当者連絡会 2 回目:集合形式 専門職を対象とした研修会後に実施

日時:候補日の中で調整予定 (1/17・1/25・1/31 は 9:00～17:00 予約)

(1/19 午後 予約) *会場 産業経済会館

対象:在宅高齢者の介護・看護・栄養に関連する職能団体担当者

内容:担当者間で具体的な検討を行う。

依頼参加団体：連絡調整会議で依頼した団体

(関係者による事前打ち合わせ) 9/23 (金) 19:00～ZOOM 会議

参加者：会長、久保田副会長、若林副会長、杉山理事、田森理事、中村理事、森平理事、
日置理事、池谷

議題：

- ・担当者連絡会で今後、栄養ケア・ステーションを多職種の方に、いま以上に利用していただくために、議事録や会議資料をもとに意見交換を実施した。
- ・会議では、静岡県栄養士会ケア・ステーションを利用しやすくする為の、現行の業務依頼書について協議された。今後も現行のものを利用し、栄養ケア・ステーションについて広報的なものと合わせて新しいものに更新していくようにする、という意見が出された。
- ・9/5 (水) までに各専門職によるモデル的な事例を担当者が分担して作成し、池谷に提出する。
- ・森平理事と池谷でとりまとめ、取り組みについてフローチャートのようなものを作成する。

3. 専門職を対象とした研修会の開催：2回開催予定 チラシ添付

開催方法：集合研修を基本とするが、新型コロナウイルス感染拡大の状況によりオンラインによる方法も検討する。

参加対象：在宅高齢者の介護・看護に関わる専門職（介護支援専門員、社会福祉士、訪問介護員、訪問看護師、行政職員、管理栄養士等）

開催場所・日程

（東部会場） サンウェル沼津 大会議室 11月13日（日）9:30～12:00 定員 70名

（中部会場） 産業経済会館 第一研修室 12月17日（日）13:30～16:00 定員 70名

〈研修内容〉

①講演 『職種間連携と在宅訪問栄養食事指導の実践について』

一般社団法人日本在宅栄養管理学会理事 管理栄養士 手塚波子先生 (WEB による講義)

②事例発表：管理栄養士 杉山清子 氏・言語聴覚士 八田理絵 氏

③グループワーク

＊研修会案内の HP 作成、Google 申込作成済み

グループワーク後参加者にアンケートを取り、取りまとめをする。

その後担当者連絡会などで結果を伝える

6) 食品表示適正化普及活用事業 （静岡県健康福祉部生活衛生局）

①食品表示講習会

県内3か所 （うち2回 WEB と併用）

伊東 会場 伊東市観光会館 10月21日

袋井 会場 袋井南コミュニティセンター 令和5年1月24日

島田 会場 プラザおおるり 11月9日

研修会案内は、HP に掲載済み、申し込み用 Google フォーム作成済み

講師 川上 栄子先生

②動画作成

動画監修 川上 栄子先生

- ・食品表示 Q&A の検索方法の動画
- ・文部科学省の栄養成分データベースを利用して、栄養成分表示を作成する動画

(9)学校健康教育事業部(松島理事)

2022 年 9 月 10 日 (土) 対人スキルアップ研修会 (アスルクラロスポートクラブ 芹沢翼先生)

講演内容：自分と相手を知ることコミュニケーションギャップを埋め、円滑な関係性を築く
性格や特性からのコミュニケーションタイプ診断 (DISC 理論)

参加人数：zoom 県内会員 44 名・県外会員 1 名、会場 5 名 (申込者 63 名 当日の参加率 80%)

※昨年度からのリピーター率 20% (63 名中 12 名)

当日問い合わせ用携帯電話の稼働：2 件 (zoom 問い合わせ 1 件、アンケート問い合わせ 1 件)

アンケートより (抜粋)

- ・前回も参加させていただいたのですが、今回も穏やかな印象と分かりやすい講義をありがとうございました。感謝しています。
- ・自分を知ること、相手との違いを理解でき、良好なコミュニケーションがとれるというお話は、今の自分に必要な情報でした。
- ・栄養のことのみにならず、こういったサブ的に必要な知識やスキルの研修ありがたいです。

(10)研究教育事業部 (三浦理事)

2022 年度第 2 回研究教育事業部運営会議を zoom にて行った (9/29)

出席者：理事 3 名と運営委員 4 名

①「リカレント教育」の進行状況の報告と受講に関する課題の検討

- ・ 8 月上旬に、9 月末までに、養成校の会員等に教育動画の作成を依頼しているが一部提出がないため、締め切りを 10 月 14 日までに延長する。
- ・ 動画のアップを始めていたが、山崎理事より専門的な助言を受け、動画アップ方法の再検討をする必要が生じ、そのことについて検討した。
- ・ 受講生の募集方法、受講確認方法の詳細についても検討した。

② 新入会員勧誘事業

- ・ 養成校学生を対象とした事業を年内に実施することとし、実施内容の詳細を検討した。
- ・ 新卒者・社会人向けの事業は、養成校学生の勧誘事業を終了してから、検討する。

次回の運営会議の開催は、必要がある場合に招集する。

(11) 地域活動事業部（池谷理事）

地域活動運営委員会 2022 年 8 月 21 日 19:30 ~ 20:30 ZOOM

2022 年度の委託事業について進捗状況及び 報告 等

① 3 事業部合同研修会について

1 月 14 日（日） 10 時～17 時 会場 あざれあ

講師 1：カメラマン（樽林様）

② スキルアップ研修会

東部：10 月 30 日（日）10 時～12 時 会場 ウェルピアながいずみ 2 階調理室

中部：11 月 5 日（土）10 時～12 時 会場 あざれあ 3 階 生活関連実習室

西部：12 月 18 日（日） 13 時～16 時 会場 クリエイト浜松 4 階 クッキングルーム

次年度も開催予定 講師は 3 地区同一講師で実施予定

2022 年度第 8 回静岡県栄養士大会について

地域活動事業部として 2 名選出予定だが、現在のところ未定

各自声掛けをして参加者を見つける

③ 東海北陸ブロック研修会について

今年度は 10 月 22 日（土）に ZOOM で実施

来年度の東海北陸ブロック研修会の担当は静岡県

④ 在宅介護者のための食支援

今年度 西部

日時 12/3 日

第 2 回の運営委員会は Zoom で実施 11 月 11 日

開催時間 調整中

事業計画・予算の予定について

→ 12 月理事会に次年度計画と予算案を提出のため各自次年度計画を考えておくこと

方向性として、次年度まで、現在実施している「在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ」研修会を実施する。その後は「現役世代へのアプローチ方法を考える」が提案された。

(12) 勤労者支援事業部（森下理事）

参加者：理事 2 名と運営委員 3 名

今後の運営についてオンライン会議を実施しました。

勤労者支援の職域とビジョンについて前回行ったリーダー研修会の報告と今後の研修会の在り方について意見交換を行った。

(13) 医療事業部（鈴木理事）

2022. 8. 27、28 第 1 回病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための地区リーダー育成研修会

① 臨床栄養学会と臨床栄養協会、日栄と共同認定という形で特定分野として小児栄養分野管理

栄養士・小児栄養分野栄養士育成を目指す。2023 年度より認定を開始する。

- ②就職応援セミナーで多くの施設から推薦をいただき、学生と年齢が近いファシリテーターから、就職活動の不安や疑問を解消することができた。医療領域の就職希望者数の増加を目指したい。

- ・コンサルテーションサロン 8/31 開催 2022.10 月、2023.3 月開催予定。

- ・ニューカマーミーティング 2022.12 月開催予定。

- ③がん病態栄養専門管理栄養士の取得勧奨について、100%設置を目指す

- ・都道府県単位で「拠点病院検討会」のような会議体を作り情報交換する。
- ・施設の理解が得られる方法、成功例を共有する。

- ④専門管理栄養士取得者増への取り組みについて 2029 年までに最低 3000 名を目指す

- ・診療報酬の改定で専門管理栄養士の更なる評価へ繋げるため取得者数を増やす
(特に腎臓病・糖尿病・摂食嚥下・在宅)
- ・診療報酬で評価される資格になるよう日栄から働きかける。
- ・e ラーニング化し受講しやすい環境が整いつつある。

- ⑤PES 報告の全国展開の方法について

- ・「栄養情報のデータ化」と「電子カルテの標準化」へ対応すべく、これらと相性の良い PES 報告の活用を計画。
- ・医療職域では 2023 年度から本格的な PES の全国展開を図るべく、今年度を準備の年と位置付け取り組みを行う。
- ・8 月 28 日研修はフロント管理栄養士の人材育成を目的とした。
- ・12 月 11 日には生涯教育研修会とタイアップした PES 報告研修会を行い
広く一般に向けて PES 報告の全国展開へ向け周知する。(定員 300 名)

- ⑥機能強化型認定栄養ケア・ステーション設置勧奨について、課題と問題解決策の協議

- ・課題

人材不足、認知度が低い、申請が大変、経営的に成り立たないなど問題は多い。

- ・対策

静岡県栄養士会「栄養ケア・ステーション部」設立。医師会に事業内容を説明しクリニックでの栄養指導契約を推進する。

立ち上げから運営までのノウハウを栄養士会で指南する。

- ⑦病態栄養研修会 (WEB) 2023.1 または 2 月

「病態栄養研修会」講師：浜松医科大学附属病院 栄養部 管理栄養士
静岡県立がんセンター 栄養科 管理栄養士

(14) 福祉事業部(田森理事)

8 月 9 日 (火) 第 2 回福祉事業部運営会議 WEB

8 月 13 日 (土) 栄養ケアマネジメントステップ 00 研修会① WEB

9 月 11 日 (日) 栄養ディスカッション 介護保険編 WEB

5 協議事項（意見を求めたいもの）

(1) 2023 年度予算編成について（若林事業部長、久保田総務部長）

事業計画及び予算申請締切： 11 月 20 日（日）までに事務局長、と三役に CC でメール提出

＊表題：事業計画・予算申請（事業部、委員会等）

メール文面：①予算変更の有無（有・無）②事業計画の説明（主に新規、変更点を簡潔に）。

12 月 5 日（月）までに確認メールでヒアリング実施。

- ➡当初、予算申請は 11 月末締め切りを予定していたが、その後のヒアリング等を考慮し、締め切りが前倒しになった。ヒアリング後に 3 役会議で検討し、12 月 11 日の理事会に仮案を提出予定。申請は書類一式を使用して提出をお願いしたい。

委託事業については、除いて提出する。

次年度以降もこのくらいの時期、またはもっと早いスケジュールになる予定。

特に増額する場合について、その理由がわかるように書類作成をお願いする。

※地区事業部については、18 日㍻で各地区に通知するため、提出は 20 日以降となる見込み。

- ➡質問があれば随時事業部長もしくは総務部長に相談していただきたい。

・ 2023 年度の事業編成について（若林事業部長）

・ 研修会デーを年間で 1 ～ 2 回程度まとめる方向が可能かどうか。

- ➡研修部担当以外の小さな研修会について、同じ地域で同日開催とすることが可能か検討をお願いしたい。

静岡県栄養士会は年間 60 回程度の研修会を開催している。他県栄養士会はその半分程度の開催。静岡県栄養士会は研修に力を入れてきたが、地域の研修会の現状として、参加者が数名のものもある。予算を考えるとこれまでと同じような開催は難しくなっている。研修会を中止するのではなく、目的の再確認や優先順位の検討、効率的なやり方を考えていくことが必要。開催地域を検討した上で事業計画を立ててほしい。

- ➡各事業担当で検討ではなく、トップダウンで研修の開催時期等を決めていったほうが統合しやすいのではないか。

- ➡収益を増やすような事業を取り入れていくことも必要。

・ 研修会開催時期の検討（4 月～6 月まで）

- ➡10 月、11 月に研修会が重なる傾向があり、事務局の負担も大きくなっている。

理事改選がない年は準備が早くできると思われるので、5 ～ 7 月開催ができるよう検討してもらいたい。

- ➡すぐには難しいとは思いますが、今の意見を踏まえて研修部として次々年度（2024 年度）には考えていただけたらと思う。

・ 事業計画および予算の申請について（久保田総務部長）

2022 年度予算執行状況

収入

新入会員が予算より 20 名少ない。会費も 30 名分少ない。収入減の原因になっている。

バナー広告の収入減。賛助会員への呼びかけをしていただきたい。

支出

光熱水費の値上げ。委託費（ホームページの委託先の変更）のこと。

- ➡現状を踏まえて事業計画を出してほしい。
- ➡昨年度と人数は変わっていないと思うかもしれないが、転入者がいるため、昨年度と同じくらいになっている。退会した人は年金をもらっている人等もいる。そのような状況も知っておいていただきたい。
- ➡新入会員数は予定の 131 名が 105 名と減少している。年度後半にどの程度入会あるか。
正規会員も 30 名程度不足している。主な収入源は会費。
バナー広告からの収入源も不足している。関心のあるところへの声かけを。
現状を知ったうえで、事業計画を立ててもらいたい。
正会員の未納者 50 名程度いる。

(2) 静栄 DAT（中村理事）

1. 健康増進課内藤慶子さんより、これから防災関係でテレビ取材の予定があり、内容がパッキングのレシピ紹介ということで栄養士会にレシピがあれば情報提供をしてほしいと依頼がありました。その際、「レシピは静岡県栄養士会のホームページに掲載されています」と栄養士会を紹介出来たら。。。と打診がありましたので、パッキングのレシピをホームページに掲載することをご承認いただきたい。
(レシピ資料参照)
 - ➡おすすめレシピではなく、災害支援のページであれば、pdf で掲載することが可能。
 - ➡トップページの NEWS にレシピ掲載が出して、検索した人が探しやすいようにする。
 - ➡放送日を確認し、放送日までには対応していく。
2. 大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)に参加し、DMAT が東中西ブロックごとに活動拠点を置いて訓練している状況をみて、東西に広い静岡県内の災害に対応するには事務局だけでは困難な状況であることを痛感いたしました。各ブロックに DiMS のオペレーションが必要だと感じました。今期は教育体制も整っていない状況であり、研修を受けていない運営委員もおりますので、有事の際は研修を受けた運営委員以外の理事の皆様にもご協力をお願いすることもあることをご承認いただきたいと思います。

➡承認された。

(3) 総務部企画調整委員会（森下理事）

- ・「表彰及び表彰候補者推薦規定」(案)について、再検討し規定を定める必要がある。
(静栄会長表彰の年齢(50 歳以上)の廃止とその時期、予算について。功労賞、感謝状などの内容。表彰委員会の構成等)どのように進めていくか。

⇒規定が古いため、規定要綱を 1、2 年で見直しし、会員に周知していく。

⇒日栄の表彰を受けると静栄の表彰が受けられなくなってしまう。静栄の表彰の年齢規定を外すと、対象者が一気に増える。その時には対象者の増加に合わせた予算化が必要。予算としては消耗品や郵送料などで、総会費用として計上し、規定を決めた上で一度は大量表彰していく。功労賞や感謝状についても規定にあるので、しっかり整備していく。

➡総務部や委員会として必要な旅費や会議費は11/20までに出してもらいたい。

2024年度の総会で動くように整備していったほしい。

- ・記念事業（式典）の開催時期について、25年後（2043年）に法人設立50周年を迎えるので（※日栄は100周年）一つの目安としてはどうか。

※平成30(2018)年11月18日(日) 法人設立25周年記念式典開催した。

※積立は100万円程度必要の為。(2022年3月末現在15万円(年間5万円予算))

- ・他県の状況も確認し、検討材料にしていく。
- ・開催の3年前(理事交代時期も考慮)には記念式典担当委員会を立ち上げ準備を行っていく必要がある。

➡25年後(法人設立50周年)2043年に記念事業を行うものとして積み立てを継続し、若手に託したい。

➡総務の記録として定期的に残していく準備をしていく。千葉県はホームページに毎年載っている。記録の保存方法や配信方法は別として、ホームページに毎年の記録を積み上げていくのもよい。

- ・2023年度総会の講演・特別講演の内容と講師候補選出について、特別講演(90分)の講演内容候補案4項目、講演内容により講師を選出する。

- ・最新情報や栄養士・管理栄養士が知っておくべき内容、情報源

- ・総会の集客率があげられるような内容を検討

1. SDGsに関連する栄養や環境問題について
2. 起業されている管理栄養士・栄養士のはなし
3. 第4期特定健診・特定保健指導の変更点等
4. 商品開発に力を注ぐ企業の努力や管理栄養士との関りについて

⇒1から順に推薦したい内容。講師は未定。

⇒総会の講演は12月理事会でどうするか決めていたと思う。各事業部でもんでもらって意見を出してもらうのはどうか。運営委員会などの意見も聞いてもらったらどうか。

⇒理事だけでなくメルマガでアンケートをとるのはどうだろうか。

⇒メルマガだと具体的じゃないと回答はしにくい。4つから選ぶとすると反応は少ないと思う。メルマガでの反応がどれだけあるのか。広報の中でもメルマガでアンケートするという意見も出ていた。メルマガ会員は1000人弱、メルマガを開封している人が49%(400~450人)。リカレントは100人いなかった。変なタイトルにすれば開封率が上がる。

⇒第4期特定健診の変更は大きな変更でないと思っている。SDGsもどう結びつけるかがわから

ない。認定栄養士をとっている人も、知る人も少ない。栄養ケア・ステーションは理解してもらう必要がある。認定栄養士は関心が低いと思う。

⇒7つの事業部で1つ演題と講師をあげていただき、森下理事にメールで送る。それを集約していただいて、12月理事会ではかっていく。

・総会時にハイブリッドで行う際の機材、カメラ等必要物品の購入、またはレンタル等予算化が必要ではないか。(現在個人持ちの機材を借りて運用している状況のため)

⇒必要な物品は予算次第。山崎理事のおかげでやっと適切なハイブリッドが出来ている状況。準備していただいて予算の範囲で対応していただくことになると思う。

(4) 広報部(渡邊潤理事)

1) 行事食メニューのレシピ募集について

現在募集中(10月末日締め切り)の施設の行事食メニューのレシピについて9月15日現在、応募なし。締め切りまでに応募がない場合は企画を中止して別の企画を検討したい。(例:施設に勤める栄養士対象ではなく、全会員または一般も含めたレシピ募集となるような企画)

⇒行事食を集める時に材料費を出していたこともあったが、施設だからと思い材料費を出さなかったが、一般に行うのなら材料費を出すようにしたらどうか。来年度の予算で計上していくことは委員会で決まっている。

⇒パックスッキングのメニューを載せてもよいか。広報で載せていけるのならやってもらってもいい。

⇒今回の募集ではフォーマットを送っていない。写真と栄養量、施設名を入れてもらうくらいで呼びかけている。もし集まらなかったら、理事の施設からもらおうという話になっていた。応募したくなるような企画にしたらどうかという意見になった。

⇒レシピが集まっていないので10月末で集まらなかったら、中止する。DATのメニューをホームページに載せていく。来年度、材料代を含んで新規の内容で予算化していく。

2) 静岡県栄養士会インスタグラムアカウント作成について

広く県民(国民)に静岡県栄養士会を知っていただくためにSNSを活用した広報活動を展開したい。インスタグラムアカウントを作成し→栄養士のこだわりメニューなどを投稿し→県栄会員に登録を呼びかけ→一般人や企業等、未入会の栄養士に関心を持っていただく→新入会員の獲得を目指す。

⇒栄養士会のことを一般の方にも知ってもらうために、インスタの必要性はわかる。アカウントを作成し、運用を始めてからが大切なので、その先まで考えてからスタートする必要がある。次回理事会(12月)で、運用について素案を提出してもらい、そこで検討・承認することを考えたい。

3) ホームページ登録（ワードプレス入力操作について）

①研修会案内・報告の担当者は以下のとおりとしたい

- ・各事業部の研修会等は各事業部理事（現行どおり）
- ・地区・ブロックの研修会等は各ブロック担当理事（現行どおり）
- ・静栄 DAT の研修会等は静栄 DAT 担当理事（現行どおり）
- ・賛助会員企業等外部からの広報は広報部理事・委員（事務局→広報部）
- ・WEB 研修の受付連絡は事務局（現行どおり）

➡提案どおりの対応とする

②上記操作者へのフォローアップとしてワードプレスの操作方法について定期的（例：4 ヶ月毎）におさらい会を実施したい（希望者のみ参加）。

➡予算をかけずに実施する方法（例：理事会の前後に行う）で実施する。

理事は事務局から送付された説明動画を確認し、しっかり覚えてほしい。最低限、研修会のページを作ってアップすることはできるようにする。

(5) 地区事業部（塚本理事）

地区研修のあり方について西部地区・中東遠地区代表者より協議していただきたいと提案がありました。

●合同で開催した場合の講師料について

・2022 年度の地区研について、西部地区、中東遠地区合同で開催すれば講師料をアップできるのではないかと考えたが、静岡県栄養士会の方針としては合同で実施しても「1 万円」とのことだった。魅力ある研修会にするには、ある程度の予算が必要ではないか？

●地区研修の一覧表作成と配布について

・研修部では来年度は全地区の研修会一覧を作成する予定だと聞いている。地区研は研修会案内の配布がないため、他地区の研修会が紙ベースでわかるように一覧表を作成し、配布していただけるとありがたい。

●11 月初めに地区代表者に送る通知文書について

➡地区研修会で予算を超えた金額で研修会を実施した件については、今回のみ対応することで承認された。

➡地区代表者の会議では、地区研修会、ブロック研修会について、それぞれの目的や役割をきちんと理解した上で企画をしてもらうことが必要であることを伝える。限られた予算の中で研修会開催となるため、費用対効果をきちんと評価していくことが必要となる。

➡会として大型研修中心か分散研修中心か、どのような方向にしていくか検討が必要。

2024 年度に足並みそろえて整備できるように、地区担当者の声を拾っておく。

(6) 栄養ケア・ステーション部(杉山理事)

- ・ 栄養 CS 登録者の再構築を 2023 年度に実施したい。
 - ・ 「登録申請書」の見直し 案内文作成（今年度中）全会員へ文書を郵送する際に同封。
 - ➡12 月の理事会に「登録申請書」の素案を出していく。
 - ・ 研修会（交流会）を WEB にて年 2 回計画。経費は次年度予算申請。
 - ➡登録者を増やすための研修だが、そもそも興味がない人もいるので総会やブロック研修会等と合わせて説明をしていくことがよいと思われる。
 - 理事会の意見を受け、開催方法については再考する。次年度予算に上げていく。
- ・ 支部運営費について、今年度予算 10 万円の詳細（金額等）を検討したい。
（今年度分の支払いを執行するとともに、次年度予算要求のため）
 - ⇒携帯電話代は委託費に入っているの、10 万円には入らない。
 - ⇒継続して 10 万円を計上していくこととする。
- ・ 静岡市静岡医師会との合同研修の講師料を予算化したい。
今年度も無料開催のため、講師料が賄えない。（前年度は理事会承認し支出した）
今後も合同研修を開催していくため、講師料の予算化について検討したい。
 - ➡医師会とつながりをもつことは大きなカギとなる。
 - Web 参加可能で県内の栄養士すべてに声掛けができる。今回は認めていただいて、次回以降は予算を見直し、調整していくこととする。

(7) 学術部（栄養士大会企画委員会）（戸田理事）

- ・ 栄養士大会演題申し込み状況 1 件 各事業部 2 演題選出を依頼したい。
- ・ 栄養士大会（午前中）の研修について
 - 日時 2023 年 2 月 11 日（土）10：30-12：00
 - 内容 代表事業部の防災についての取り組みについて（1 人 10 分発表）
医療：〇〇、学校：戸田、福祉：寺田さん、行政：〇〇、日栄 DAT 研修：稲葉さん
台風 15 号被災状況（西部地方や静岡市）：〇〇
- ・ 午後の部、現在、医療から 1 件申込あり。（〆切 10/21）
- ➡研究、学校、スポーツ、病院からは演題提出可能。地域は難しい。
- ・ 「栄養士大会」の名称の変更を考えてもよいのでは。
- ➡演題の提出を難しく考えている会員も多い。学会発表のような内容ではなく、業務紹介のようなものでもよいのでは。
- ・ 午前の部は防災の取組を考えているが、栄養士会の各事業部の取組紹介でもよいかもしれない。午後からのスタートとしてはどうか。
- ➡午前中は単位化しているので、70～80 分は最低欲しい
- ➡開始を 11 時として、賛助会員の話を含めて 90 分とすることも考えられるが、商品紹介だけでは単位として認められない。

➡開催方法を含めて学術部で再度検討し、3役と相談する。

(8) 研修部（渡邊美子理事）

・2023 年度実務研修について

・6 月定時総会、8 月全国栄養士大会（日栄）、2 月栄養士大会（静栄）は固定化されてきている。

・年 1 回、秋頃に 1 日を通した研修会デー（10：00～11：30、13：00～14：30、15：00～16：00 等）を設けるなど、日にちを固定化して、会場費や運営費を集約することについて検討したい

・今年度は、「集合+オンラインのハイブリッド」学校（2 単位/1 日）、「オンライン」医療（3 単位/2 日）、「集合」三事業部合同研修（2 単位/1 日）で、合計 7 単位を 4 日間で実施予定。

・研修会を縮小する？同日の同じ時間に別会場で研修会を並行して開催する？ 運営方法（集合・オンラインやアカウントの取得）はどうするか？ 等の課題あり

⇒予算削減のためには、同じ規模を同日でやるのではそれほど削減できないと思うため、規模を縮小して、学校は 2 年に 1 回とか、医療も 2 年に 1 回とか縮小していくか、逆に予算ありきで予算がいくらだからこれをやりましょうとかの方がいいのかなと思いました。トップダウンで今年度は研修会にはこの予算だからこれで企画してねというほうが上手くいくのかなと。

予算は例年通りあげさせていただきますが、もらった予算の中で次年度の研修を縮小していく方向で検討していくのがよいと思いました。1 日に集約するというご意見いただければと思います。

医療は 1 回やってみるのはいい。三事業部は来年も同じような形でやる。予算はあまり減らない。

➡来年度予算は例年通りで計上する。

事業部の研修会だけでなく、地区やブロックでの研修会をまとめて開催することもできるのではないかな。

研修会担当者は研修会の内容の企画だけでなく、予算を抑えた研修会の開催方法等についても検討していくようにお願いしたい。

(9) 公益事業委員会（委託 1、2）（池谷理事）

食べるから繋がる地域包括ケア推進事業

連絡調整会議での検討内容を受け担当者連絡会で栄養ケア・ステーションとの連携について協議するために、9/23 の打ち合わせ会の時に参加した方に、多職種（7 職種の方からの依頼想定）を考えてもらいフローチャートのようなものを作成した、それについてのご意見をいただきたい。

⇒県の委託事業で多職種と交流したが、栄養ケア・ステーションを知らないという意見をいただいた。一通り目を通していただき、それぞれの団体がこんなことを考えていたというのをまとめたものなので、出来れば読んでおいて理解をしておいてほしい。流れは事務局の鈴木さんがこの説明をしてから紹介を行っていて、鈴木さんが確認してくれているのでよいと思うが、困ることがあれば後で連絡いただきたい。

これを見せることで、他の団体に栄養ケア・ステーションはこんなことも出来ると知ってもらうための素案が出来たのではないかなと思う。困りごととか具体的な相談の内容のイメージもまとめた。

⇒承認された。

⇒各自資料を読み、訂正点等があれば、池谷理事あて連絡する。

(10)研究教育事業部（三浦理事）

以下の2つの事業①②について、研究教育からご提案があった。

①「リカレント教育」について

1 YouTube 規約を確認したところ、今回の有料講座は、配信ができない条件にあたるため、有料動画アップサイト Vimeo を利用する必要がある。

料金プラン Standard ￥2,900 1シートライセンスあたり / 月々

年払い契約のため 34,800 円が講師謝金に加えた必要経費となる。

講義内容により何本かに分けて動画作成されているものもあるが、年間 120 本まで利用可能なため、10 講座をまとめてアップする。動画は、申込者限定で配信する。

2 スケジュール

理事会の承認 10 月 15 日

申し込み開始 11 月 1 日（火）～12 月 20 日（火）

視聴期間 12 月 21 日から 2 月末まで

動画の確認と単位認定 3 月（一部事務処理、研究教育の運営委員が協力）

3 受講募集要項の作成と募集方法について

募集方法は、研修会と同様の申込制とし、リカレントの R を使い、「R 個人名」で振込してもらう

募集要項（案）は、動画にして、メルマガに配信予定。

4 視聴確認方法と単位認定【3 月】

他の研修会同様、Google フォームでアンケートを作成し、受講者が受講後、視聴した講座の内容についてのコメントを入力する。その提出をもって、単位認定とする。

Google フォームの受講者データを運営委員 2 名が確認整理して、会員が視聴した講座番号を事務局へデータ送付。同時に、各講師にコメント欄のみをまとめて送付も行う。

⇒有料動画配信サイトに申し込みを行いたい。動画は、申込者限定で配信する。

⇒募集案内は、動画にして、メルマガに配信予定。

⇒承認された。

②「養成校学生向け新入会員勧誘事業」について

養成校学生を対象とした事業を年内に実施することとし、実施内容の詳細を検討した。

1 対象学年：卒業に近い、短大は 2 年 大学は 4 年生に案内する

2 実施方法：オンライン（zoom）で開催する

- ・ 就職人数が多い3事業部ごとのオンライン開催とする（医療、勤労者（事業所）、福祉（保育園と高齢者施設）の3分野）
- ・ 各事業部から2～3名出いただき、福祉は保育園と高齢者施設の両方に対応できるように数名願います。事業部によっては、若手の会員でなく、現理事を中心に、各事業部に願います。
- ・ 座談会のような形式で行う。
- ・ 就職への不安や、栄養士会に入会すると仲間ができて、研修が受けられることなど紹介していただく。

3 実施日時：12月の平日夜（年末年始は除く1～20日くらいで調整） 19時～ 30分程度

講師となる会員の日程調整により都合がつく日時 3つの説明会は日程が重複しないようにお願いしたい。

具体的な日時は各事業部の都合に合わせる

研究教育の理事は、3日間の説明会に交代で参加し、必ず一人以上は入るようにする。

ZOOMの管理は研究教育の理事が行う。

4 参加者募集方法：チラシを作成（別紙2）し、各校で学生に配布する。

（11月）①Google フォームで参加登録をする。

「学校名、氏名、この説明会の連絡用アドレス、内定している就職分野、勤務地（県外・県外がわかれば）、参加したい説明会（いくつでもよい）、事前質問」

②登録者に URL を送る。

参加者名簿の整理は、研究教育の運営委員に協力をお願いする。

なお、募集したが、申込者がいない場合は、開催中止とする。

⇒各事業部から2～3名選出していただき、日頃の業務の紹介や栄養士会に入れば先輩に相談できるというような内容などを伝えていきたい。卒業年度学生を対象とするため、年内には実施したい。

医療、勤労者（事業所）、福祉の中から会員を2～3人紹介してほしい。事業部によっては、若い方の選出が難しいことが予想されるため、年代制限は撤廃してもよいと思っている。

⇒10月末までに医療、福祉事業部は、対応できる会員名を三浦理事あてに報告する。

（11）その他

①ホームページ保守委託業者の変更と新たな契約について

WEBサイトの保守について、2020年2月よりUiD合同会社と業務委託契約を結び、依頼していたが、事業継続性に不安があることがわかり、UiD合同会社との業務委託契約を10月末で終了することで合意した。

については11月よりWEBサイト構築を請け負ったEL Think社に保守を依頼したいと考えているが、EL Think社の代表は山崎理事であるため、会計事務所に確認したところ、当該取引は利益相反

取引にあたることがわかった。(別紙参照)

理事会において、当該取引につき重要な事実を開示し、特別の利害関係を有する山崎理事を除いた理事会承認を受ける必要があるため、本件についてお諮りいただきたい。

⇒メルマガは広報部の理事として行うので、料金は発生しないと考えている。

⇒保守運用部分の 15,000 円/月と運用サポート費(1～5 件/月)5,000 円/月をセットで 20,000 円/月として年間契約していくことで承認された。ただし、山崎理事は特別利害関係を有するので、議決権を行使せず、定足数にも参入しなかった。

②栄養ケア・ステーションで居宅療養管理指導の対応をする場合の金額について

時間単位の依頼 6,000 円/3 時間(交通費別途)

件数での依頼 2 件 3,000 円(交通費別途)

3 件 4,500 円(交通費別途)

※1 件当たり 1,500 円。依頼を受けるのは 2 件以上からとする。

手数料として栄養ケア・ステーションで 10%引いた額が担当者に支払われる。

手数料の割合については、定期的に見直しを行っていく。

皆様からご意見をいただき、継続して協議を行うこととした。

6 承認事項(協議を経ず理事会で承認を受けたいもの)

(1) 新入会員の承認について(久保田総務部長)

・日栄より 2022 年度会費未納会員への案内メールの送信について情報提供の依頼あり。案内メールに同意し会費振込先の情報提供を行った。送信対象者抽出は 9 月 29 日予定、9 月中に配信された。

⇒新入会員について承認された。

⇒未納者が 55 人。日栄からのメールで何人かは入金や確認の連絡があった。

(2) 研修部

・2022 年度 研修会予定一覧表 ※資料参照

⇒後期の研修会について承認された。

(3) 福祉事業部(田森理事)

在宅介護者の食生活支援研修会 開催

日時: 12 月 3 日(土) 14:00～16:00

場所: 浜松クリエイト クッキングルーム

内容: 『食べることに困っていませんか? 解決します!』

・(仮) 食べ物・栄養についての食支援ってなに?

講師 在宅連携センターつむぎ みずさきかずこ様

・(仮) 食べられる口の維持 講師 静岡県歯科衛生士会 矢部 高子 氏

・食生活の困った！実演で解決 講師 田森稔浩

⇒資料については、修正の必要あり。修正される前提で承認された。

(4) 総務部企画調整委員会（森下理事）

- ・表彰基準を明確化した文書等作成し、理事会承認後、会員へ周知のために HP に掲載する。
- ・各表彰に関して、各事業部で推薦に値される方の情報を総務部に毎年年度末に挙げていただく。
⇒承認された。

(5) 事務局員の昇給について

静岡県の最低賃金に変更されたため、10 月分から時給の変更を承認していただきたい。

去年の時給変更も 10 月に行い、発効年月日に勤務した分の賃金から、最低賃金を下回る賃金は強制的に最低賃金に引き上げられるため、10 月締め分の時給から変更している。

骨太の方針では以前より「年率 3%程度を目途として引き上げを行い、全国加重平均が 1,000 円になることを目指す」とされ、概ねその方針通りに引き上げが行われている。

⇒最低賃金が 944 円になったため、最低賃金を下回る設定の時給について 10 月 5 日から引き上げることで承認された。

事務局員の残業が 600 時間/年間。事務局負担が大きくなってきている。土日勤務、夜の勤務、WEB になったことでいつでもできてしまい、拘束時間が長くなってしまっている。

実際は 17 時までの勤務。

理事も業務の仕分けをし、出来ることは理事が行うようにする。

7 連絡事項

(1) 委託事業（池谷理事）

①食べるから繋がる地域包括ケア推進事業 研修会参加推奨依頼

専門職を対象とした研修会の開催

東部会場 サンウェルぬまづ（ぬまづ健康福祉プラザ）

2022 年 11 月 13 日（日） 9:30 ～12:00 定員 70 名

中部会場 静岡県産業経済会館

2022 年年 12 月 17 日（土） 13:30～16:00 定員 70 名

グループワークがあるため、会員に参加を呼び掛けてください。

⇒東部会場は、現在、申し込みが 6 人。グループワークもあるので参加してほしい。

10/31 まで申し込みを延長する。

②元気を見つめる外食活用推進事業

冊子の配布が目標に達していないため、引き続き活用について呼びかけをお願いしたい。

今年度の実績が次年度以降の発行部数にも関係するため協力をお願いします

⇒年間 3,000 冊なので、報告書は必要だが、無償で配布可能。イベントでも説明すれば配布できる。

8 確認事項

(1) 行事日程の確認について

(2) その他

本日の ZOOM (WEB 会議) システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事

新井 英一
久保田 美保子
若林 恭子
松島 天子 (WEB)
戸田 知里 (WEB)
日置 朝子 (WEB)
塚本 ゆみ江
三浦 綾子 (WEB)
篠原 啓子
森下 知代 (WEB)
山崎 靖晃 (WEB)
池谷 広美
森平 教子
白石 明子 (WEB)
青島 千恵 (WEB)
栗原 理江 (WEB)
鈴木 恭子 (WEB)
渡邊 美子 (WEB)
渡邊 潤 (WEB)
中村 朱美
太田 紘之 (WEB)
田森 稔浩
杉山 智子 (WEB)
柳澤 利哉 (WEB)
出席監事 梅木 幹子 (WEB)
関 明子 (WEB)

議事録作成者

日置 朝子

議事録作成者

塚本 ゆみ江

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2022 年 10 月 15 日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 新井 英一 

副会長 若林 恭子 

副会長 久保田 美保子 

監事 関 明子 

監事 梅本 幹子 